

試験法 102

タンデム車によるたわみ測定試験(復元たわみ法)

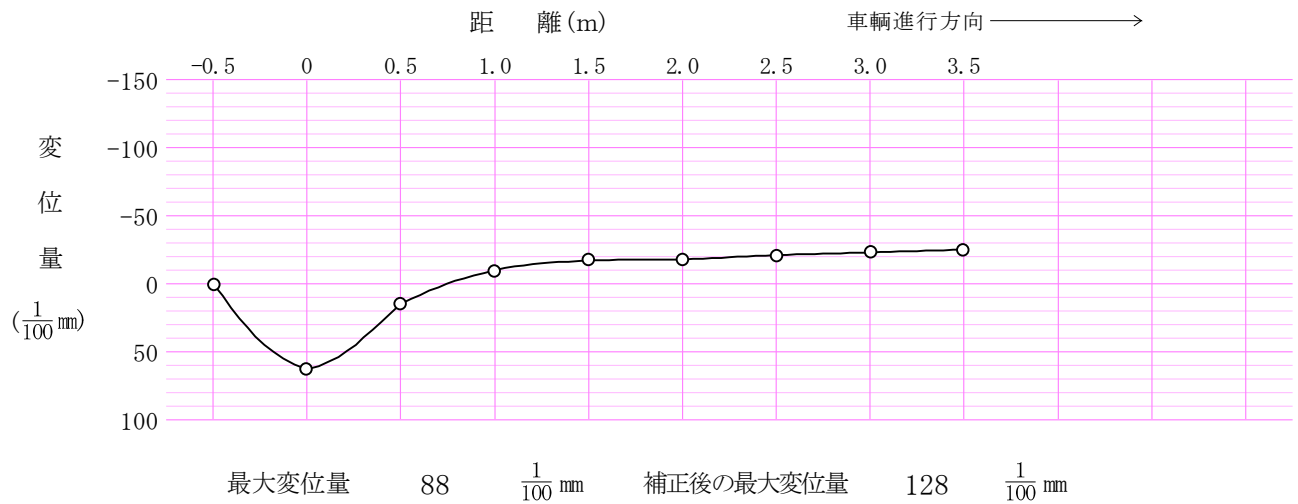
調査件名 SYSTEM21 最高級プロフェッショナル士質調査解析ソフト
 長年の実績で信頼と安定したソフトを実現 試験年月日 2019年8月25日

地点番号 D-1 (T.P. -5.0m) 試験者 田中 誠二

試験面	上部路床	施工後	5日	試験時刻	13時30分		
試験面状態	乾燥(普通)湿潤	含水比 w	5.2%	乾燥密度 ρ_d	2.154 g/cm ³	天候	くもり
気温	10.5 °C	路面温度	1.6	複輪荷重(実測値)	後後輪 50.0 kN	複輪荷重(実測値)	後前輪 50.4 kN
対空気圧(実測値)	700 kPa	ベンゲルマンビームの倍率		1/2 倍			
測点番号	A-1						

変位計の読み ($\frac{1}{100}$ mm)	回数	距離	-0.5	0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	最大値
	1			0	31	8	0	-3	-3	-4	-4	-4
2			-60	24	3	-2	-4	-5	-6	-6	-6	
3			0	33	9	-5	-8	-8	-10	-11	-12	
4			0	66	18	-10	-16	-16	-20	-22	-24	90
			0	30	6	-5	-9	-10	-11	-12	-13	
平均			0	63	15	-10	-17	-18	-21	-23	-25	88

上段：変位計の読み
 下段：上段×ベンゲルマンビームの倍率の逆数



特記事項 最大変位量=変位の最大値-輪荷重の影響がなくなったときの変位量
 補正後の最大変位量=最大変位量+0.40 (路床の場合に適用)
 自己記録装置付ベンゲルマンビームを使用したときは、その記録用紙を貼り付けてもよい

- タンデム車によるたわみ測定試験__特記事項1
- 特記事項2
- 特記事項3
- 特記事項4
- 特記事項5